

平成29年度の取り組み（変更箇所の抜粋一覧）

変更 下方修正

変更 上方修正

追加 追加

1. 高度急性期病院の確立

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	29年度目標(変更前)	変更	29年度目標(変更後)
救命救急センターの充実	断らない体制の強化	救急車の受け入れを断わることとなった事例を分析し、単年度で改善できるものについては改善し、複数年かかるものについては3年間の中で改善する。 スタッフの充実(救急医の確保、薬剤師)	救急車受け入れ台数 4,500台 または 三次救急患者1,200人 救急医最低1名確保	変更	救急車受け入れ台数 4,000台 または 三次救急患者1,200人 救急医最低1名確保

2. 安定的な経営の確保

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	29年度目標(変更前)	変更	29年度目標(変更後)
収入の確保	診療報酬請求の最適化	現状の査定率(0.2%未満)を維持しつつ、高額請求(2,000点以上)の査定減を減少させる。	査定率:0.2%未満 高額請求の査定件数:130件 高額請求の査定点数:1,200,000点	変更	査定率:0.2%未満 高額請求の査定件数:130件 以下 高額請求の査定点数:1,200,000点 以下
		退院時要約が全患者について速やかに作成されるよう、医師及び看護師に働きかけを行う。	退院日の翌日から起算して10日以内に作成される退院時要約の割合:90%	変更	退院日の翌日から起算して10日以内に作成される退院時要約の割合:90% かつ30日以内に作成される割合:100%
		診療報酬への対応	施設基準の取得可能な項目について対応する DPC II 群病院への復帰に向けた取り組みの実施及び重症度係数の上昇	変更	施設基準の取得可能な項目について対応する DPC II 群病院への復帰に向けた取り組みの実施及び 診療密度 の上昇 入院期間II越えの割合:25%以下
	その他の収入確保策	全入院患者への服薬指導の実施	薬剤管理指導料 1,500件 実施率90%	変更	薬剤管理指導料 1,630件 実施率 95%
		特別食加算の増加	特別食加算比率 28%	変更	特別食加算比率 28.5%
		栄養食事指導件数の増加	栄養指導件数 2,400件	変更	栄養指導件数 3,200件
支出の削減	薬品費率の削減	採用薬品の厳密な選定	入院・外来収益に占める薬品費の比率10.8%を維持	変更	入院・外来収益に占める薬品費の比率 10.1% を維持
		同種同効品の見直し	採用品目数:1,220品目以下	変更	採用品目数: 1,200 品目以下

3. 医療の質の向上

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	29年度目標(変更前)	変更	29年度目標(変更後)
総合診療施設の充実	7対1入院基本料の維持	重症度、医療・看護必要度の維持	重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者が25%以上入院している	変更	重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者が 28% 以上入院している
	平均在院日数の短縮	低侵襲診断・治療の充実	短期滞在手術(主な5手術)の平均在院日数 2.8日 内視鏡手術件数 850件 血管内治療件数 850件	変更	短期滞在手術(主な5手術)の平均在院日数 2.8日 内視鏡手術件数 1,000件以上 血管内治療件数 1,000件以上
			退院調整看護師の積極的な活用 病棟で退院調整ができる看護師の育成 入院前の検査、説明、在宅療養支援等ができる体制の確立	退院支援加算 I 件数 月380件 退院後訪問指導件数 月10件 訪問看護ステーション連携件数増加	変更
	クリニカルパスの推進	DPCに適合したクリニカルパスへの見直し(パス改定のチーム:医師・クリニカルパス担当看護師・薬剤師・理学療法士・栄養士・診療情報管理士等)	見直したパスの数 50種類 パス適用患者数 7,000人 新規パス件数 20件 パス適用率 60%	変更	全てのパスを入院期間II以内にする パス適用患者数 7,000人 新規パス件数 20件 パス適用率 60%
	栄養管理の充実	喫食率の増加	喫食率 84.5%	変更	喫食率 85.3%